

2015年
春 号
Vol.12

幸義会だより

岡山東部脳神経外科

「メモリー」

東備クリニック副院長 浮田 直也

美しい人生よ かぎりない喜びよ
この胸のときめきを あなたに
この世に大切なのは 愛しあうことだけと
あなたはおしえてくれる♪

メモリーと言えは松崎しげる「愛のメモリー」。いい歌です。Amazonで探すと愛のメモリー（発売35周年アニバーサリーエディション）売ってました。14曲収録でなんとすべて愛のメモリーです。「同一楽曲・同一歌手・歌唱・最多収録シングル」で只今ギネス申請中!!とのこと。ベストセラー商品ランキング3369位。微妙です。ちなみにAmazon好きの私でも買いません。

さて我々の外来でメモリーと言えは記憶、記憶と言えは物忘れ、物忘れと言えは認知症です。現在認知症に罹患する人口が年々増えており、まだ20年先まではこの傾向が続きます。国も総力をあげて認知症への対応を進めており、治療薬の開発も世界中で進められておりますが、いまだ根本治療には至っておりません。現状では3種類のコリン



エステラーゼ阻害剤、一種類のNMDA受容体拮抗薬があり、それらにより進行スピードを抑えられるようにはなりましたが、やはり進行は止められません。それでも治療効果はあり、そのため認知症（ここではアルツハイマー型認知症）の早期発見が重要となります。ただ困ったことに、発症した時にはすでに脳内に原因となるβアミロイドが蓄積しており、どうにもなりません。現在のお薬は神経伝達機能をよくするのが目的ですが、さきのβアミロイドの産生を抑制するお薬やアミロイドに対する抗体の治療が進められており、もうしばらく時間がかかりそうです。

ここでメモリー（記憶）の話に戻ります。記憶と一概に言っても、その内容はさまざまです。皆さんが物忘れ！と訴えられる多くがエピソード記憶の低下といったものです。その名の通りなんらかの出来事記憶です。アルツハイマー型認知症でもこれがまず落ちます。昨日の晩はYouTubeで愛のメモリーを歌ったなあというのが記憶をしているのが意味記憶です。なんのエピソードもありません。

元素記号を覚えるために「スイヘイリーベ」とか、鳴くよ（79年）うぐいす平安京などです。自転車に乗れるのは、手続き記憶。体で覚えるってやつです。その他、ゴルフ13が背後に来た人をつい回し蹴りしてしまう、これは古典的条件づけ（パブロフの犬が有名）その他さまざまな分類、概念がありますが、これ以上メモリーが残ってませんのでやめときます。ただ意識するだけでも記憶力は向上するので、みなさんあきらめず覚えようとしましょう！ちなみに私はこれまで何度も二日酔いして吐いてという非常につらいエピソード記憶を多数有しているにも関わらず、いまだ同じエピソードの経験を繰り返しております。

それではメモリーは脳・神経系だけですのでしょうか？実は体もメモリーします。まずは悪い記憶から。それは「ソルトメモリー」。ある一定期間、高塩分を負荷されると、その後も

高血圧になりやすいといったもので、主に腎臓がメモリーしていると言われております。ある実験では、それぞれ高塩分ミルクと低塩分ミルクを半年ほど飲ませた赤ちゃんのグループに分けて、その15年後に比較すると、高塩分ミルクを与えられたグループのほうが血圧が高くなっているのがわかりました。ラットの実験でも同様な結果のようですが、腎臓を移植交換すると、正常側の血圧が高くなり、高塩分側の血圧が低下したとのことです。ここで多くの方が自分はまだ大丈夫だ！と思われるかもしれませんが、大丈夫です。それこそよく効く降圧剤が多数存在しますので諦めずに主治医にご相談ください。

つぎにいい記憶。「メタボリックメモリー」。レガシー効果とも言われますが、糖尿病管理に関連する効果です。患者を2つのグループに分け、10年間にわたり、一方のグループは厳格な血糖管理をし、もう一方には従来の緩やかな血糖管理をし

岡山東部脳神経外科在宅支援センター

平成27年3月1日に在宅介護支援事業所「岡山東部脳神経外科在宅支援センター」を開設いたしました。

「岡山東部脳神経外科在宅支援センター」では、在宅で生活しておられる高齢者の方や介護されているご家族からの相談や介護保険の申請、介護保険サービスが利用できるように調整等をお手伝いさせていただきます。高年齢の方が住みなれた地域・自宅で可能な限りすごせるように、その方の有する能力に応じ、自立した日常生活が営むことが出来るように介護支援専門員（ケアマネージャー）が支援させていただきます。

介護支援専門員の渡邊千恵と申します。在宅で過ごされておられる高齢者の方と関わらせていただいて13年になります。そのなかで経験し学んだことを活かしていきます。今後とも、初心を忘れずに自ら質の向上に努め、日々の業務に取り組みます。

ました。その結果、10年後には厳格管理グループでは網膜症や腎症の発生率が低くなったものの、心筋梗塞などの大血管障害の発症には差がありませんでした。10年が経ったのに差がでませんでした。しかし！その後2つのグループともに特に区別しない通常の治療に戻したところ、さらに10年経つとヘモグロビンA1c（糖尿病の管理指標の一つです）はほとんど同じになっていたにも関わらず、その10年の間に過去10年間厳格な血糖管理をしてきたグループは緩やかな血糖管理グループに比べて、明らかに心筋梗塞の発症が少なかったのです。努力は実を結ぶという典型です。体はちゃんとメモリーしてくれてました。大事な脳にも体にも覚えさせますことです。みなさんががんばりましょう！

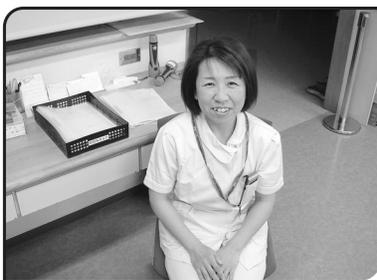


デイサービスセンター「歩夢」の建物に併設してあります。

住所：岡山市東区瀬戸町光明谷217-1
電話：086-952-15250
名称：岡山東部脳神経外科在宅支援センター
営業日：月・火・木・金・土
（但し1月1日から1月3日は除く）
緊急時はこの限りではありません。
実施地域：岡山市・赤磐市
管理者：渡邊千恵

春号のいちおし!

一回目の今回は、看護副師長の徳永真紀さんにインタビューをしました。



- Q 1. なぜ看護師になろうとおもったのですか?
A. 看護師として働く叔母に憧れたからです。
- Q 2. 岡山東部脳神経外科で働くきっかけは何ですか?
A. 岡山に移住すると決めたとき、偶然募集チラシを見つけ、脳神経外科病棟に勤めていた当時の上司に相談したところ、勉強になるからと薦められたからです。
- Q 3. 現在の仕事で大変だと思ったことはありますか? 逆に良かったことはありますか?
A. 急患対応中に急患や急変などが重なった時に大変だと思ったりあります。退院時患者さんからお手紙を頂いたときは嬉しく思います。
- Q 4. 今まで印象に残っている患者さんの出来事がありますか?
A. リハビリで転院されたり、退院された患者様が現状報告に病棟までわざわざ足を運んでくださったことです。
- Q 5. 本院は地域に根ざした医療に貢献することを目標として掲げておりますが、看護師の目線から何かかけていることはありますか?

- A. 患者様、ご家族を取り巻く生活背景を知り、必要な援助は何かと考えることとケアマネジャーさんからの情報を大切に、連携をとっていけるようにすることです。
- Q 6. 最後に仕事で疲れた時の癒しやストレス解消法は何ですか?
A. もうダメかなと感じたら仕事帰りにコンビニに寄って期間限定の缶チューハイや発泡酒を一本だけ買って家に帰って飲むことです。

ありがとうございました。次回からも同様のインタビューを行なっていきたいと思えます。



医療・病棟クラーク紹介

医療クラークとは「医療事務作業補助者」との意味です。クラークとは、医師からの指示を受けて患者様の診察・検査をスムーズに流れるように補助・案内するのが大きな役割です。

カルテからの検査伝票の作成はもとより、医師と看護師・医師と検査技師・検査技師と看護師との連携が円滑に意思疎通できるようにするのもクラークの大切な仕事です。

病棟クラークとは、病棟内の詰所へ常駐し、主に入院院に関する事務手続き・各種検査伝票の整理・カルテ管理・サマリ作成・面会者の対応・電話対応など病棟内において、医療行為を除くあらゆる事務業務を行っています。

先生や看護師さん・各部署のスタッフとも、コミュニケーションがとれ、患者さんにも「ありがとう」と言ってもらえる事もあり、楽しく仕事をさせていただいています。入退院が続くと仕事を立て込み大変ですが、医療知識も身につく、やりがいのある仕事です

山口加奈代



片岡千恵子



山本ゆかり



仕事の様子



時末洋代

患者様に信頼され、少しでも負担がかからないように心掛け、病院内の潤滑油として自分達の役割を果たしていきたいと思えます。

院内感染勉強会

岡山クリニックスで2月23日、東備クリニックで2月27日に「嘔吐物処理について」の勉強会を行いました。

代表者2名が偽吐物を使って実際に処理をし、それに対して間違いを指摘してもらったという実践的な勉強会でした。実際にやってみると、頭ではわかっていてもなかなか思うようにできなかったり、焦ってしまったりと、問題点がたくさん出てきました。この勉強会で学んだことを、今後の院内感染対策に活かしていきたいと思えます。



2月の献立

2月3日 節分

巻き寿司・大豆の五目煮・白和え・いわし団子汁・甘納豆

巻き寿司に使用する焼き海苔は噛み切りづらく、ノドに貼りつきやすいため、切れ目の入った安全性の高いものを使用しています。

また、節分には福豆(炒り豆)を食べ、厄除けを行います。今回はマービー甘納豆(砂糖使用に比べカロリー30%カット)を使用し、高齢者の方や糖尿病など疾病をお持ちの方にもおいしく食べて頂けるようにしました。



デイサービスセンター「歩夢」

デイサービスセンター「歩夢」では、習字を定期的に行なっています。そのなかで、希望の利用者様はふれあい書道展に出品されています。



随時見学は受け付けております。お気軽にお越し下さい。

岡山脳卒中チームケア研究会 (O-CAST)

岡山脳卒中チームケア研究会 (Okayama-Care meeting of Stroke Team) は、「脳卒中の急性期から慢性期における地域連携とチーム医療」をテーマに、日常臨床と病診連携の一助になるべく、日常臨床の成果・研究の発表の場として、岡山市内の医師・メディカルスタッフの情報交換、相互の啓発を行なうことを目的としています。

岡山市内の19の医療機関が参加し、岡山市内医療機関の各メディカルスタッフごとの脳卒中チームを作り、職種間の相互理解を深め、岡山市内の脳卒中ケアのレベルアップと均てん化を目指しています。

また、事業についてはメディカルスタッフ職種ごとに集まり、研究会テーマを決め、発表、企画、進行等を行なっています。年2回開催し、平成26年9月27日には看護師、平成27年2月28日にはリハビリスタッフの先生方に発表いただき、勉強をさせていただきました。

今後とも岡山脳卒中チームケア研究会や岡山脳卒中チームケア研究会運用会議等には、積極的に参加させて頂き、他機関のスタッフの方たちと連携を図り、スキルアップしていけたらと思っています。



第1回O-CAST運用会議の様子(MSW部門・地域連携室部門)